

研究の概要

2019 年 8 月 29 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	着床前診断(PGT)におけるcell-free DNAを用いた 非侵襲的な染色体解析方法の確立
代表研究者 (所属・氏名)：	IVFなんばクリニック 中岡 義晴
研究の目的：	胚の着床前診断(PGT)では3日目の分割胚から1-2割球もしくは胚盤胞から栄養膜細胞(TE)5-10細胞を用いての検査が広く行われています。しかし、これら胚からの細胞生検は少なからず侵襲性があり、採取細胞数と着床率の関係が懸念されます。近年、PGTに培養液や胞胚腔中にcell-free DNAという胚性由来の遺伝子/染色体断片が存在していることが示されています。このcell-free DNAを用いて染色体の異数性を調べることができれば胚への侵襲性が低い検査が実施可能となります。本研究では胞胚腔中や培養液を用いることで、より非侵襲的な胚の染色体解析方法の確立を目指しています
調査データ該当期間：	20 19 年 8 月 29 日 ~ 20 24 年 9 月 30 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	本研究では治療に用いない廃棄予定のヒト胚盤胞を用います。胞胚腔中や培養液を採取し全ゲノム増幅により増幅を行い、液中にcell-free DNAが存在するか確認し、得られたゲノムを用いてNGSにて解析を行うことで異数性を調べることが出来るかを調べます。
個人情報の取り扱い：	研究に用いる患者個人情報の保護を行います。研究報告により個人が特定されることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)：	利益相反状態はない。
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	IVFなんばクリニック 06-6534-8824 生殖技術部門 中野 達也
備考	